

こんじちは 市長です。No.46

No.46



新年のご挨拶

市民の皆様、明けましておめでとうございます。

今年、「戌年」。戌は犬で、人間に最も親しみのある動物に喩えられることもあり、穏やかな一年になることを期待しています。

今年、我がまちにとっては、市制施行70年、開港70年という節目の年です。また、北海道では北海道命名150年、国にとっては明治維新150年と、色々な意味で節目の年ですから、全国的に様々なイベントが行われる年ではないでしょうか。

昨年一年間は、思いがけないイカの豊漁や観光客の増加、とりわけ、インバウンド観光の幕開けともいえるような、外国人の方々の来訪が目立った年でした。今年、未だ岸壁の改良も進み、一隻でも多くのクルーズ船が寄港してくれることを期待しています。

そして、何よりも昨年6月、市内のあちこちで口げが行われ、多くの市民の皆さんにエキストラとしてご協力をいただいた映画「北の桜守」が、2月3日に総合文化センターで、さらには、5日に札幌雪まつり会場で、それぞれ先行上映会が行われ、3月10日の全国公開を待つ形となります。

先日、吉永小百合さんにお会いしましたが、エキストラで参加いただいた、稚内市民の皆さんに大変感謝されており、一人でも多くの皆さんに見ていただけるよう期待されています。

今年、「犬」として「桜」がキーワードになる年かもしれません。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

稚内市長 工藤 広

平成30年のめだま

詳しい内容については、今後広報紙やホームページなどでご案内します。

市制施行70年、開港70年を迎えます

今年、本市が、昭和24年4月1日に北海道で14番目の市として誕生してから70年を迎えます。これを記念して市内で様々なイベント等が行われます。

本市は昭和24年4月1日に市制を施行し、今年、市制70年を迎えます。

今年、市民の皆さんと一緒に、本市がこれまで積み重ねてきた歴史や先人たちの業績を振り返るとともに、本市の魅力を確認し、まちの将来の発展に向けて更に飛躍するための節目の年です。



平成25年に寄港した「飛鳥II」

日本最北端わかっかない 平和マラソン大会初開催

9月2日に、稚内で初開催となるフルマラソン大会「第1回日本最北端わかっかない平和マラソン大会」を開催します。

稚内の活性化と発展を図るとともに、日本最北の地の「食」「景観」「歴史」といった稚内の魅力を、すべてのランナーに走りながら満喫していただくことを目指して開催するこの大会。

ゲストランナーには「公務員ランナー」として有名な川内優輝選手(埼玉県)をお招きします。新規のフルマラソン(42.195km)のほか、例年実施していた平和マラソン同様の距離を走るショート部(2.5、8km)もあり、どなたでも気軽に参加いただけます。

フルマラソンのコースは宗谷岬の「日本最北端の地」から「稚内港北防波堤の碑」を目指す、稚内の景観を楽しめるコースです。皆さんに楽しんでいただける大会となるよう、準備を進めています。



昨年行われた平和マラソン大会

「生涯学習総合支援センター」が誕生します！

市民の皆さんの生涯学習活動を応援する学びの自由空間「稚内市生涯学習総合支援センター」がオープンします。

旧稚内商工高等学校実習棟を活用した「生涯学習総合支援センター」が4月にオープンします。

この施設は、「いつでも・誰でも・気軽に」に学べる施設として、サークル活動や地域コミュニケーション活動の

ペースとしてはもちろん、生涯学習アドバイザーを中心とする知識・経験豊富なスタッフにより、幅広い年齢層へ向けた講座の開設や個人・団体への学びに関する情報など市民の皆さんの学習活動をサポートして

くことを目的としています。施設内には、軽運動室や調理室、陶芸室、木工室、音楽室など多様な機能を持った教室に加え、気軽に立ち寄れるフリースペースを設けており、個人やサークル間の交流や学びの情報発信基地としての役割も担います。

「学びたい人」「教えたい人」「情報が欲しい人」「交流したい人」などみんなが集う生涯学習活動の拠点となるよう、現在、オープンに向け準備を進めています。



生涯学習総合支援センターの完成イメージ図